

《担当者名》明野 伸次 akeno@hoku-iryu-u.ac.jp

【概要】

看護実践の基盤となる看護技術について、その特性、対人関係を築く技術および看護過程について、講義とグループワークにより学修する。

【学修目標】

1. 看護実践の中核となる看護技術の特性を理解する。
2. 看護実践の基盤となる専門的援助関係の特徴および影響要因を説明する。
3. 看護過程の構成要素および看護過程において実践力を支える要素を理解する。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	1. 看護技術の特性(1)	1) 看護技術とは (1) 看護技術の定義が意味するもの (2) 看護技術は何を作り出すのか (VTR視聴によるグループ学習)	明野
2	1. 看護技術の特性(2)	2) 技術を規定する要素から見た特徴 (1) 技術の概念を規定する要素 (2) 人に対する技術の特徴	明野
3	1. 看護技術の特性(3)	3) 看護技術の特性 目的性、個別性、身体性、順序性	明野
4	2. 看護における対人関係(1)	1) 対人関係を築くためのコミュニケーションのあり方 (1) コミュニケーションの構成要素と影響要因	明野
5	2. 看護における対人関係(2)	2) 看護論からみた患者-看護師関係 3) 専門的援助関係の特徴 (1) 専門的援助関係とは (2) 専門的援助関係の発展に関わる要素	明野
6	3. 看護実践の方法としての看護過程(1)	1) 看護実践の特性から見た看護過程の意味 (1) 看護過程とは (2) 看護過程に内包される看護技術 (3) 看護過程において実践力を支える要素 対象理解の重要性と方法 (紙上事例を活用したグループ学修)	明野
7	3. 看護実践の方法としての看護過程(2)	(3) 看護過程において実践力を支える要素 実践力を支える論理的思考とは (紙上事例を活用したグループ学修)	明野
8	3. 看護実践の方法としての看護過程(3)	(3) 看護過程において実践力を支える要素 対象理解の重要性と方法 (紙上事例を活用したグループ学修)	明野
9	3. 看護実践の方法としての看護過程(4)	(3) 看護過程において実践力を支える要素 実践力を支える論理的思考とは (紙上事例を活用したグループ学修)	明野
10	3. 看護実践の方法としての看護過程(5)	(3) 看護過程において実践力を支える要素 看護計画の立案と実践の考え方 看護過程に関連する倫理的側面 (紙上事例を活用したグループ学修)	明野
11	3. 看護実践の方法としての看護過程(6)	(3) 看護過程において実践力を支える要素 看護計画の立案と実践の考え方 看護過程に関連する倫理的側面 (紙上事例を活用したグループ学修)	明野

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
12	3. 看護実践の方法としての看護過程(7)	(3) 看護過程において実践力を支える要素 看護計画の立案と実践の考え方 看護過程に関連する倫理的側面 (紙上事例を活用したグループ学修)	明野
13	3. 看護実践の方法としての看護過程(8)	(3) 看護過程において実践力を支える要素 看護計画の立案と実践の考え方 看護過程に関連する倫理的側面 (紙上事例を活用したグループ学修)	明野
14	3. 看護実践の方法としての看護過程(9)	(3) 看護過程において実践力を支える要素 看護計画の立案と実践の考え方 看護過程に関連する倫理的側面 (紙上事例を活用したグループ学修)	明野
15	3. 看護実践の方法としての看護過程(10)	2) 看護過程に関連する記録	明野

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学校の授業実施方針による

【評価方法】

定期試験 60%、課題レポート40%

【教科書】

1. 宮脇美保子編：基礎看護学 看護学概論 第4版・メヂカルフレンド社，2017.
2. 深井喜代子他：基礎看護学 基礎看護技術 第6版・メヂカルフレンド社，2021.
3. 深井喜代子他：基礎看護学 基礎看護技術 第5版・メヂカルフレンド社，2021.
4. E. ウィーデンバック，外口玉子他訳：臨床看護の本質．現代社，1984.
5. E. ウィーデンバック他，池田明子訳：コミュニケーション 効果的な看護を展開する鍵．新装版，日本看護協会出版会，2007.

【参考書】

单元ごとに紹介する。

【備考】

授業の出席確認やフィードバックシート(質疑・意見等)は、Google Formsを活用する。

【学修の準備】

授業で配付される資料はファイルにまとめ、いつでも活用できるように携帯する。

授業の進行にそって、授業資料および教科書の関連ページを熟読する。グループ発表の際は必要な資料を作成する(予習2時間)。

授業で配付される「前回の授業コメント」を熟読し、授業の振り返りに活用する(復習2時間)。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2：看護専門職に必要な知識・技術を修得し、健康や生活に関する問題に対して、適切かつ柔軟に判断し解決できる学術的・実践的能力を身につけている。

【実務経験】

看護師

【実務経験を活かした教育内容】

病院での看護師としての実務経験を活かし、実践的教育を行う。

病院での看護師としての実務経験に基づき、看護技術の特性、対人関係を築く技術および看護過程について講義する。